



平成29年度 相模湖地区地域活性化事業交付金 交付決定事業実績

平成30年3月31日現在

事業等の名称	団体名	事業実績の概要				交付決定年月日	交付金額 (単位:円)
		事業の目的	事業の内容	事業の成果	事業実施団体による自己評価		
1 石老そば作りで地域の活性化	相模湖そば作り友の会	そば作りを通して疲弊しつつある相模湖地区の活性化と食文化の向上を目指す。 そば粉を利用した特産品の試作や、そばの花観賞会など石老山周辺のPRに努める。 若い親子にそば打ち等を通じて地域の魅力を知ってもらおう。	畑の土起こしから、種まき、刈取り、そば打ちまでの一連の作業(8月から12月) 「そば打ち鍛錬会」の開催(4月～3月、月1回) そば粉を利用した地域の特産品の試作(4月から3月) そばの花観賞会(10月) そば打ち体験教室(一般:12月、子ども:1月) 子どもにはぼざづくり体験をしてもらう。	今年度は相模原市「市民の森」構想がスタートし、イベントが開催された事で「相模湖そば作り友の会」も参加し、石老そばの美味しさを参加者に堪能していただいた。また、会員が緑区全体(橋本、相原、大沢、城山、津久井)に広がった事により相模湖地区の魅力をも更に広める事ができた。	地域との交流、ハイカーへの話題提供、そば作りの面白さ、そばの美味しさなどなどを通じて、相模湖地区の話題づくりに大いに貢献できた。	H29.6.5	50,000
2 SAGAMIKO MUSIC PARK	SAGAMIKO MUSIC PARK	1. 青少年達が運営(会議、会場設営、音響操作、司会、演奏、片付け)を体験する事で、裏方に見えてしまう仕事の大切さ、大変さを感じ、責任感のある、リーダーシップをとれる人間に育成する。 2. 大人達も青少年達と共に活動する事により、音楽&楽器演奏を生涯学習の一環として興味を持って貰ったり継続して貰う。 3. 地域住民と商工会等経済団体、観光協会と連携し、地域活性化、商業観光の振興を図る。 4. プロミュージシャンを講師に招き、技術、意欲の向上を図る。	1. 楽器演奏の定期練習、指導、講師指導。 2. バンドイベントを開催。運営、音響機器操作等、職業体験。ライブ演奏。 3. 経済団体(商工会青年部、商工相友会)による飲食ブースの出店、特産品販売、相模湖のPR 4. 地域住民と経済団体(商工会青年部、商工相友会)観光協会との連携により、他の相模湖地域イベント(相模湖湖畔さくらまつり・相模湖やまなみ祭・DANCER'S PARK・相模湖ふれあい広場・小原宿本陣祭)ステージ部門のサポート。	ワークショップでは音の作り方やマイクの仕組みや選び方、楽器や機材のセッティングを学べるので、回を重ねる毎に子ども達の成長がみられ、今では相模湖地域イベントの出演、サポートを行っている。今回は相模湖湖畔のピアガーデンと同日開催とし、当イベントのお客様にも終了後、ピアガーデン・レトロな相模湖を楽しんでいただくなど相模湖PRに貢献できている。相模湖商工会青年部・地域団体等の連携で、飲食出店による相模湖特産品のPRもできた。	初めは消極的だった学生たちがワークショップで学んだこと、アドバイスされたことを本番で発揮できていた。ゲストのTAGAWAの皆さんとのセッションでは「プロミュージシャンと同じステージで演奏できる嬉しさ・楽しさが子ども達の表情や動きから伝わってきた」とご来場のお客様からも好評を得た。イベントの趣旨に賛同してくださるゲストの皆さんの惜しみないご協力のお陰で、普段見ることのできないステージ裏の部分も見せてもらえることで、学生たちだけでなく音楽好きのお客様にも大きな刺激となった。SNS告知等でイベントの知名度も上がってきて、大阪・京都など幅広い地域からの集客ができた。	H29.6.5	200,000
3 内郷地区乗合タクシー利用啓発事業	内郷地区乗合タクシー運行協議会	内郷地区乗合タクシーは平成21年10月1日から実証運行を開始した。規定の運行要件(1便あたりの利用者が1.5人、稼働率が50%)をクリアしているため、平成23年4月1日から本格運行に移行した。しかし、本格運行後も運行要件を満たしている必要がある。 また、高齢者など移動制約者の生活交通を確保することは重要であり、今は自動車を運転できる高齢者も将来運転できなくなった時に不安を感じている。 そのため、内郷地区乗合タクシーをPRして利用促進を図る必要がある。	内郷地区乗合タクシーのパンフレットの作成やイベントでの配布のほか、会議等で利用促進のPRを行うなど、委員による啓発活動を行う。	地域内の方が集まる老人会などで委員が周知することにより乗合タクシーの認知度が高まった。また、委員である民生委員の戸別訪問の際の一つのツールとしても活用でき、福祉の観点からも地域のコミュニティが図られた。	高齢化社会を迎える中、持続可能な公共交通を維持していくためには、地域の熱意と活動が必要である。人口減少が止まらない中、利用者数の増加は難しいが、引き続き利用促進に努める必要があると考える。	H29.7.11	100,000

事業等の名称	団体名	事業実績の概要				交付決定年月日	交付金額 (単位:円)
		事業の目的	事業の内容	事業の成果	事業実施団体による自己評価		
4 地域資源を活用した美と健康とおもてなし	さがみ湖コンシェルジュ	女性の視点から、都心より近い自然あふれる癒しの場所相模湖の魅力を発信し、内外のビジターを増やすために、異業種・異分野(福祉・企業・市民)団体が連携し、協力し合うようなイベントを開催する。また、魅力的なまち相模湖の統一したイメージづくりを図っていく。	食・森林・健康・美容・音楽などのスペシャリストのワークショップを、相模湖地区の自然あふれる森や湖、キャンプ場や公園、歴史的な神社や寺、古民家、プレジャーフォレストや交流センター、近隣のレストランなど様々な場所で開催する。相模湖地区のイメージアップを図るような、看板、マップ作り	女性の視点から、都心に近い自然あふれる癒しの場所として相模湖地域の魅力をPRするワークショップを開催し、千葉、東京など他県からも参加いただいた。また、イルミネーションのイベント時に駅等複数個所でチラシの配布を行った。さらに小原の里の昔まつりや小原宿ライトアップイベントに参加し、他団体との協力関係が構築できた。観光協会には何かと相談させていただいたが、今後、商工会等ともどのように連携ができるか話し合いを行う予定。	29年度後半からの活動ではあったが、他団体を含めた様々な活動につなげることができた。地域資源をどのように生かせるか、女性の視点からの発想が人々の関心を集めることができた実感した。今後は既存の各団体の活動をつなげることを通し、地域活性に繋げる活動を重点に取り組んでいきたい。	H29.8.4	360,000
5 さがみ湖やまなみイルミネーション事業	さがみ湖やまなみイルミネーション実行委員会	相模湖周辺地域の冬の風物詩となるよう、相模湖駅周辺や県立相模湖公園に例年以上にバージョンアップしたイルミネーションを設置するとともに、相模湖地域の魅力づくりと県立相模湖公園や湖畔商店街へ観光客の誘致及びより一層の地域の活性化を図ることを目的とする。	さがみ湖やまなみイルミネーション実行委員会各団体、地域住民との連携、協力体制により、直接の手作業による、相模湖駅前広場及びふれあいパーク、県立相模湖公園のイルミネーションの装飾を行う。12月23日に駅前でクリスマスイベントを実施し、県立相模湖公園や湖畔商店街等へ観光客を誘致する案内、チラシの配布等を実施する。	県立相模湖公園及び相模湖駅周辺へイルミネーションを装飾することにより、冬季の公園利用の促進及び商店街の活性化など、地域のにぎわいづくりに貢献することができた。	相模湖駅前や駐車場で湖畔商店街等へ観光客を誘致する案内、チラシの配布を実施したことにより、湖畔商店街やポートへ多くの来客者があった。また、地域団体が協力し、事業を実施したことにより、地域団体間の連携も強化された。	H29.11.15	457,000
6 「ハイキング・ウォーキングのまち相模湖」事業	相模湖地区まちづくり会議観光専門部会	ハイキング・ウォーキングのまち相模湖としてハイキングコースの整備及びPRを行ない、ハイキングを中心とした観光客を増加させ、地域の活性化を図る。	・ハイキングコースの景観整備 小仏城山ハイキングコース内の景観伐採、ベンチの設置を行う。 ・ハイキングコース内やイベントでの観光PR ・ホームページやSNSでの観光情報の発信	ハイキングコース内の景観伐採を行うことにより、展望台から相模湖や富士山を一望できるようになった。また、ベンチを設置することにより、登山客が休憩場所として利用できるようになり、ハイカー目線に立った魅力あるハイキングコースの整備ができた。	・相模湖地区内のハイキングコースをPRするため、SNS等での観光情報の発信やチラシの配布など登山客へのPR活動を積極的に行い、相模湖の魅力を広く発信することができた。 ・ハイキングコースを整備したことにより、陣馬山や高尾山などからの登山客の誘客につながることを期待する。	H29.12.22	346,000
							1,513,000